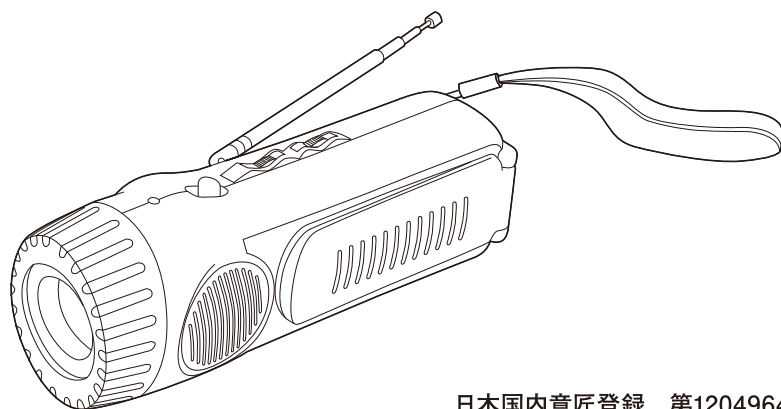


マルチポータブルチャージャー

取扱説明書



日本国内意匠登録 第1204964号

このたびは「マルチポータブルチャージャー」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライト及びLEDランタンを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオは大きな音量で聴かないでください。サイレンは耳元に近づけて聞かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものを混ぜたり、アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。

6991C マルチポータブルチャージャー取扱説明書

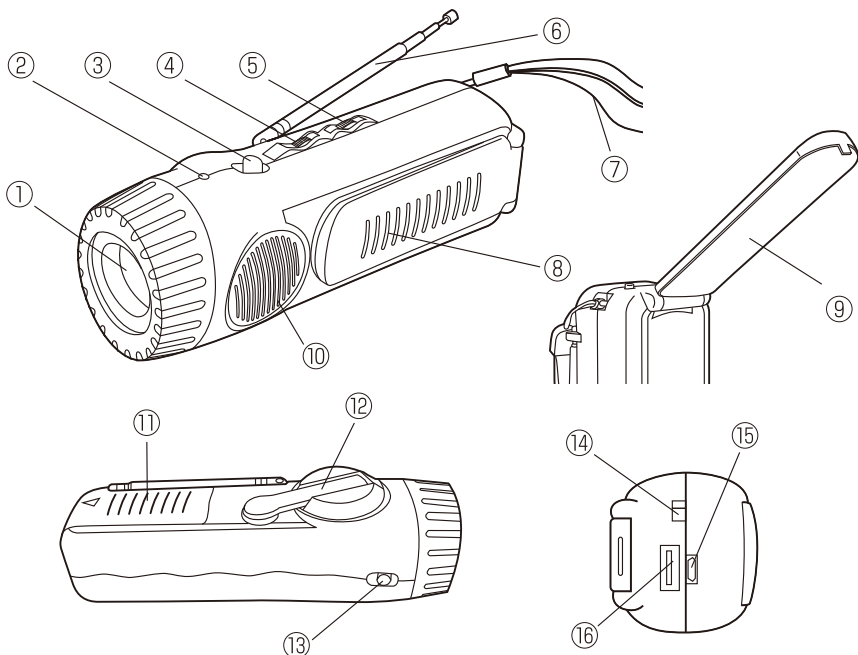
目次	1
1 基本機能	2
2 各部名称	2
3 付属品名称	3
4 電源	3
5 電源切換スイッチについて	3
6 乾電池の入れ方	4
7 本体への充電	5
① USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電	5
(a) パソコンからの充電	5
(b) AC/USBアダプター(別売)からの充電	6
② ダイナモハンドルでの充電(ライト、ランタン、ラジオ用)	7
8 ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチについて	8
9 LEDライトまたはLEDランタンを使うには	8
10 ラジオ(FM/AM)を使うには	9
11 サイレンを使うには	10
12 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)	10
① 乾電池(アルカリ電池)により携帯電話を充電する方法	12
② 内蔵充電電池から携帯電話を充電する方法	12
◎ アイフォンを充電する方法	13
◎ Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	14
適合機種について	15
携帯電話充電の際の安全上のご注意	15
13 各機能の使用時間の目安	16
仕様	17
保証書/保証規定	18

1 基本機能

- LEDライト(白色1灯)
- LEDランタン(3灯)
- ラジオ(AM/FM)
- サイレン
- 携帯電話機の充電

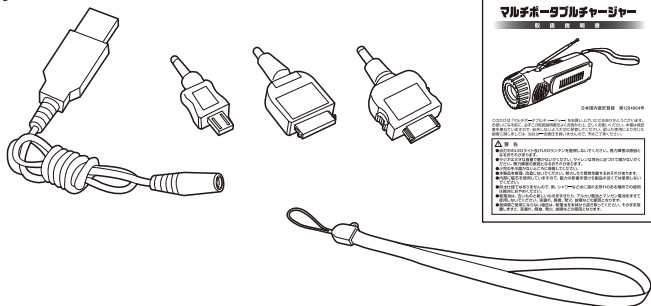
2 各部名称

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ①LEDライト | ⑨LEDランタン |
| ②インジケータランプ | ⑩スピーカー |
| ③ライト/切/ランタン/
USB出力切換スイッチ | ⑪乾電池ケースフタ |
| ④ラジオスイッチ/音量ダイヤル | ⑫手巻きダイナモハンドル |
| ⑤選局ダイヤル | ⑬FM/AM/サイレン切換スイッチ |
| ⑥FMアンテナ | ⑭電源切換スイッチ |
| ⑦ハンドストラップ | ⑮DC-IN端子 |
| ⑧ランタンシェード | ⑯携帯電話充電端子(USB出力) |



3 付属品名称

- 携帯電話充電USBケーブル
- 接続コネクタ3種
 - ・オレンジラベル…au用
 - ・青ラベル…docomo/Softbank3G用
 - ・緑ラベル…スマートフォン用(microUSBコネクタ)
- ※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。
- 取扱説明書／保証書(本書)
- ハンドストラップ

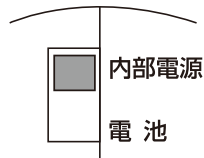


4 電源

- 1.ダイナモハンドル
- 2.内蔵充電池:内蔵ニッケル水素充電池(Ni-MH型、3.6V/300mAh)
- 3.単4乾電池×3本(別売)

5 電源切換スイッチについて

ダイナモハンドルやUSB等で充電した内蔵充電池を使用する場合は、⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「電池」の位置に合わせてください。



6 乾電池の入れ方

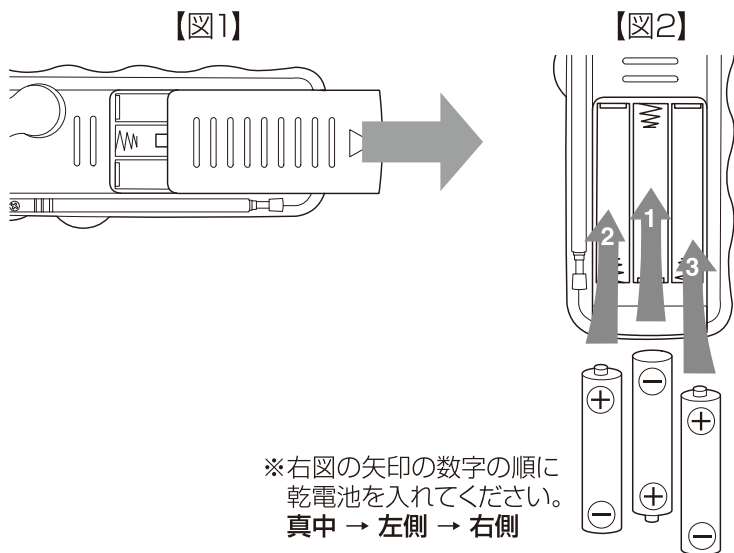
◎単4乾電池×3本使用(別売)

1.①乾電池ケースフタをスライドさせて開けてください。【図1】

※フタは取り外し式です。紛失にご注意ください。

2.単4乾電池×3本の \oplus 、 \ominus を確認し、正しくセットしてください。【図2】
乾電池セット後①乾電池ケースフタを閉じてください。

※バネのある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側からセットしてください。



※乾電池での使用時間につきましては、13.各機能の使用時間の目安の表の「乾電池でのご使用時間の目安」(16頁)を参照してください。



注意

※アルカリ乾電池とマンガン乾電池、新旧の乾電池、種類の違う乾電池等を混ぜたりして使用しないでください。発火、破裂や液漏れのおそれがあります。

※長期間ご使用にならない場合、本機から乾電池を抜いてください。液漏れのおそれがあります。

7 本体への充電

④ USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電

※パソコンのUSBポートや別売のAC/USBアダプター(5v/500mA)等を使用して家庭のコンセントから本体へ充電することができます。

(a) パソコンからの充電

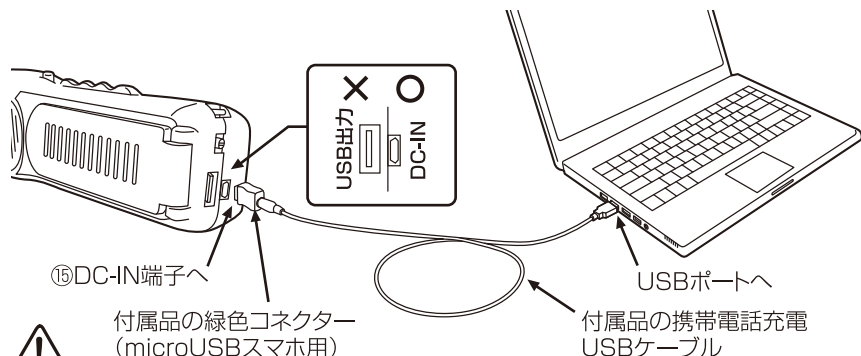
1. 付属の携帯電話充電USBケーブルのUSBプラグ側をパソコンのUSBポートに差し込み、緑色のスマホ用マイクロUSBコネクタをケーブルの反対側に取り付けて、本体の⑮DC-IN端子に差し込んでください。

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。

2. ⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。

3. この状態で本体に内蔵の充電電池に充電が開始され、②インジケータランプが赤く点灯します。(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3~4時間経過しましたら、必ずパソコンから抜いてください。)

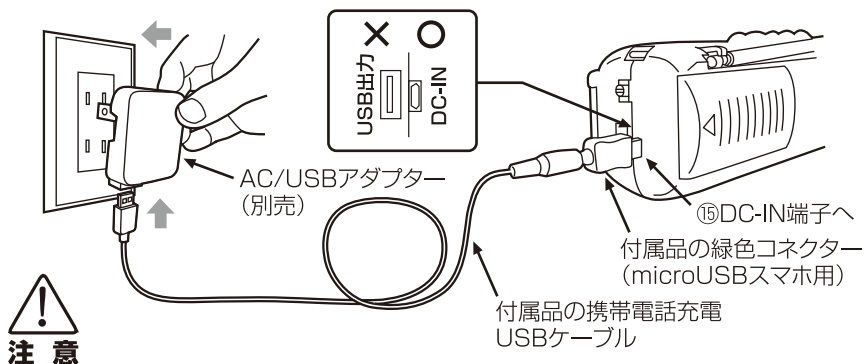
4. 約3~4時間で満充電になりLEDライトで約3時間、ランタンで約4時間、ラジオで約30時間、サイレンで約3時間のご使用が可能です。



※4時間以上連続して充電しないようにしてください。本体が少し熱くなることがあります。内蔵充電電池の特性上、本体の温度が30~40度程度になりますが、性能上問題ありません。

(b) AC/USBアダプター (別売) からの充電

1. 当社指定の専用AC/USBアダプター(品番5848(5V/500mA))をお買い求めください。
 2. ⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
 3. 専用のAC/USBアダプターに付属の携帯電話充電USBケーブルのUSBプラグ側を差し込み、P5の図の様に家庭用(100V)コンセントに接続してください。
 4. 携帯電話充電USBケーブルの反対側に付属の緑色のスマホ用マイクロUSBコネクターを差し込み、本体の側面の⑮DC-IN端子に差し込んでください。
- ※付属品の緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
5. この状態で本体の内蔵充電電池に充電が開始され、②インジケータランプが赤く点灯します。(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3~4時間経過しましたら、必ずコンセントから抜いてください。)
 6. 約3~4時間で満充電になりLEDライトで約3時間、ランタンで約4時間、ラジオで約30時間、サイレンで約3時間のご使用が可能です。



※4時間以上連続して充電しないようにしてください。本体が少し熱くなることがあります。内蔵充電電池の特性上、本体の温度が30~40度程度になりますが、性能上問題ありません。

※USBケーブルやAC/USBアダプター充電による使用時間につきましては、13.各機能の使用時間の目安の表の「満充電後の内部電源による連続使用時間の目安」(16頁)を参照してください。

⑧ ダイナモハンドルでの充電（ライト、ランタン、ラジオ用）

※ダイナモハンドルでの充電は、満充電を想定したものではありません。
本体内部に充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。
（ハンドルを回して直接携帯電話への充電は出来ません。）

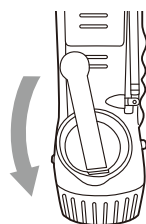
1. ③ライト/切/ランタン/USB
出力切換スイッチを「切」の位置
に合わせてください。

2. ⑫手巻きダイナモハンドルを
本体から立ち上げてください。

【図1】

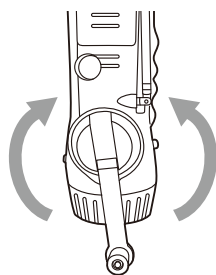
3. ⑫手巻きダイナモハンドルの
つまミを持って回してください。
ハンドルを回す向きは、左右ど
ちらでも構いません。【図2】

【図1】



ハンドルを立ち
上げてください。

【図2】



つまミを持って
回してください。

※回転方向は左右どちらでも構いません。

※ハンドルを回すスピードは2回転/秒のペースが適当です。（120回転/分）

※ハンドルを回す際に、指をはさまないようにご注意ください。

※ハンドルを回す際、⑥FMアンテナや⑦ストラップにお気をつけください。
本体やハンドルに絡まると破損したり、けがをする恐れがあります。

※⑫手巻きダイナモハンドルで、市販の乾電池およびニッケル水素電池等
の充電電池に充電することはできません。

※充電後、⑭電源切換スイッチを「内部電源」に合わせてご使用ください。

※ダイナモ充電中は②インジケータランプが赤く点灯します。

※ダイナモハンドルでの使用時間につきましては、13.各機能の使用時間の
目安の表の「ダイナモハンドルによる連続使用時間の目安」（16頁）
を参照してください。



ダイナモハンドルを強く押さえないでください。
ハンドルが破損する恐れがあります。

8 ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチについて

③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチは4段階の切り換えスライド式になっています。通常は「切」の位置に置いてください。

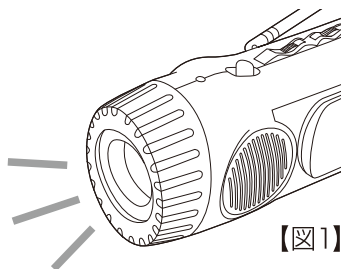
※切換スイッチがランタンの位置になった場合⑧ランタンシェードの内側で⑨LEDランタンが点灯します。シェードが本体に収納されていると、あかりが見えずに電源を消耗します。ご注意ください。



9 LEDライトまたはLEDランタンを使うには

1. 充電電池を使用する場合は、⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「電池」の位置に合わせてください。

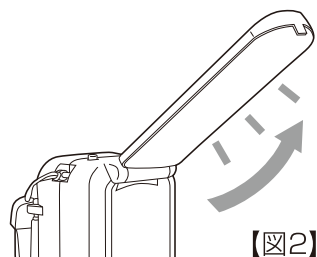
2. ③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチを「ライト」の位置に合わせてLEDライトが点灯します。【図1】



【図1】

3. ③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチを「ランタン」の位置に合わせて⑨LEDランタンが点灯します。⑧ランタンシェードを引き上げてご使用ください。【図2】

4. 消灯する場合は③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチを「切」の位置に合わせてください。



【図2】

※点灯中のLEDライトおよびLEDランタンを直視しないでください。視力障害の原因となります。

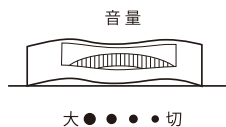
※⑧ランタンシェードの開閉時は指をはさまないようにご注意ください。

※ライト及びランタンはLEDを使用しているため、交換することは出来ません。(寿命約4万～5万時間)

10 ラジオ(FM/AM)を使うには

- FM/ワイドFM周波数:76~108MHzの表示内で受信可能。
- AM周波数:530~1600kHzの表示内で受信可能。【図2】

1. 充電電池を使用する場合は、⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「電池」の位置に合わせてください。
2. ④ラジオスイッチ/音量ダイヤルを反時計回り(大の方向)に回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。適当な音量に調節してください。【図1】
3. ⑬FM/AM/サイレン切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
4. ⑤選局ダイヤルを回して、お聞きになりたい放送局に合わせてください。周波数が適正な位置に合うと②インジケータランプが緑色に点灯します。
※⑤選局ダイヤルの▲AM側にAMの周波数を▼FM側にFMの周波数を表示しています。【図2】
5. スwitchを切るときは、④ラジオスイッチ/音量ダイヤルを時計回り(切の方向)に回し「カチッ」と音がするまで回しきってください。「カチッ」という音を必ず確認してください。
※音量を小さくしただけでは電力が入ったままとなり乾電池が消耗します。必ず「カチッ」と鳴るまで④ラジオスイッチ/音量ダイヤルを戻してください。
※ラジオ(FM/AM)をお聴きになっている時もLEDライト又はLEDランタンを同時使用することが可能です。
※FM電波はその特性上、室内など場所によって受信しにくい場合があります。その際は⑥FMアンテナや本体を電波の受信状況の良い方向や場所を選んで使用してください。
※テレビやパソコンなど電気機器のそばでラジオを聴くと、ノイズが入る場合がありますので、電気機器から離してラジオをお聴きください。



【図1】



【図2】



注意

ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。大きな音は聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

11 サイレンを使うには

1. 充電電池を使用する場合は、⑭電源切換スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「電池」の位置に合わせてください。
2. ⑬FM/AM/サイレン切換スイッチを「サイレン」に合わせてください。サイレンが鳴ります。
3. サイレンを止める場合は⑬FM/AMサイレン切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
4. サイレン使用時にLEDライトが点滅します。



注意

サイレンは大きな音が鳴ります。耳元に近づけると聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

12 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)

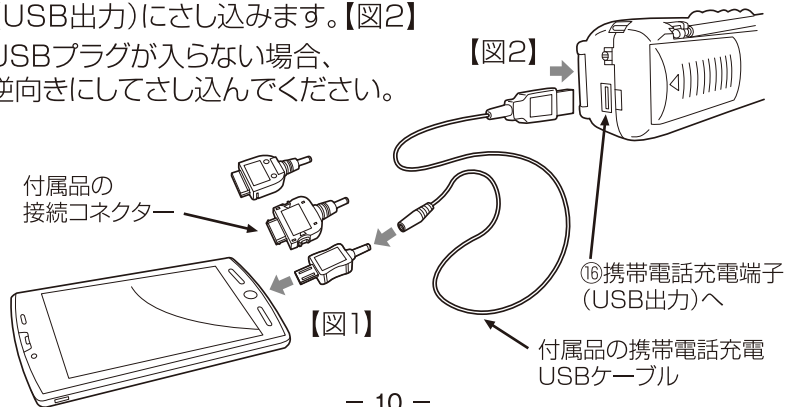
1. 携帯電話の充電は下記の条件で充電が可能です。

※アルカリ乾電池からの充電。

※本体に蓄電した充電電池からの充電。

2. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクターをお選びください。【図1】ケーブルのもう一方のプラグを⑯携帯電話充電端子(USB出力)にさし込みます。【図2】

※USBプラグが入らない場合、逆向きにしてさし込んでください。

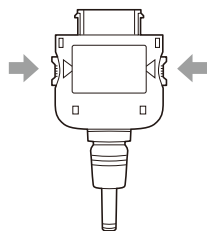




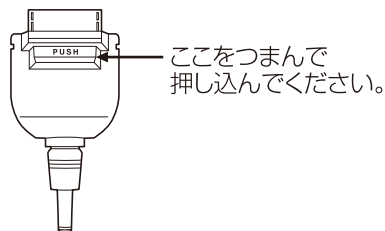
携帯電話接続コネクターのさし込みのご注意

- ※3種類(青ラベル・オレンジラベル・緑ラベル)のコネクターを使用される場合、表/裏にご注意ください。ラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下向きにしてさし込んでください。
- ※(緑ラベル)コネクターをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。
- ※緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
- ※ドコモ/ソフトバンク3G用(青ラベル)を抜く時は両サイドにある押し込み用ツマミを充分に押してから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)
- ※au用(オレンジラベル)を抜く時は裏側にある押し込み(PUSH部)をしっかりと押し込んでから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)

ドコモ/ソフトバンク用
(青ラベル)



au用
(オレンジラベル)



- ※形状の異なるコネクターを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。
- ※携帯電話にケース等をしたまま充電動作をした場合、ケースの形状によっては上記コネクターのさし込みが不十分であったり、正しくさし込みができない場合がありますので予めご了承ください。(ケースを外せば正しく装着することが出来ます)
- ※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

④ 乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法

※使用する乾電池は必ず新しいアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池では充電できません。

※本体に乾電池を入れる場合、6.乾電池の入れ方(4頁)を参照してください。

- 1.⑭電源切換スイッチを「電池」の位置に合わせてください。
- 2.③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチを「USB出力」に合わせてください。
- 3.乾電池の電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※乾電池で携帯電話の充電中はLEDライトやラジオ等は使用できません。



注意

- アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をするおそれがあります。
- 充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。
- 更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

⑤ 内部充電池から携帯電話を充電する方法

※携帯電話への充電は通常アルカリ乾電池から行なってください。アルカリ乾電池がない場合にはあらかじめ満充電された内蔵充電池を使うことも可能です。

※充電能力は内蔵充電池の状態、電波状態、携帯電話の種類の状態により大きく異なります。

- 1.③ライト/切/ランタン/USB出力切換スイッチを「USB出力」に合わせてください。
- 2.⑭電源切換スイッチを「内部電源」に合わせてください。
- 3.本体に蓄電した電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※充電池中で携帯電話の充電中はLEDライトやラジオ等は使用できません。



注意

内部電源に電気が残っていても、電圧電流値が低い場合は充電できません。必ず満充電にしてから始めてください。

◎iPhoneを充電する方法。

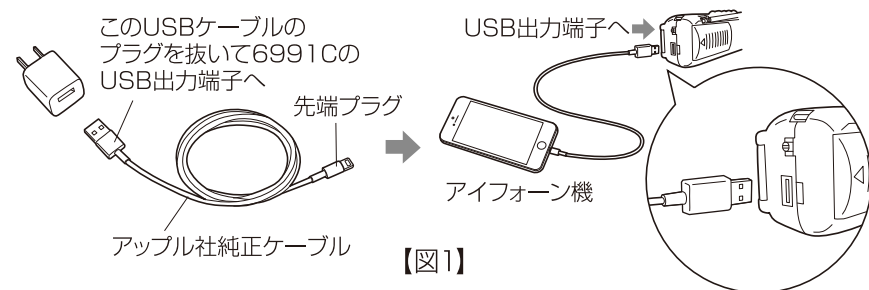
※iPhone用コネクタ(30ピンタイプ及びライトニングタイプ)は付属していません。

※iPhoneには二通りの充電方法があります。

①アップル社純正のUSBケーブルを使用する。

アップル社の純正のケーブルをご使用ください。(純正ケーブルのUSB端子を本体の⑥携帯電話充電端子(USB出力)に差し込み、ケーブルの反対側の先端プラグをお手持ちのiPhone機に差し込んでください。)**【図1】**

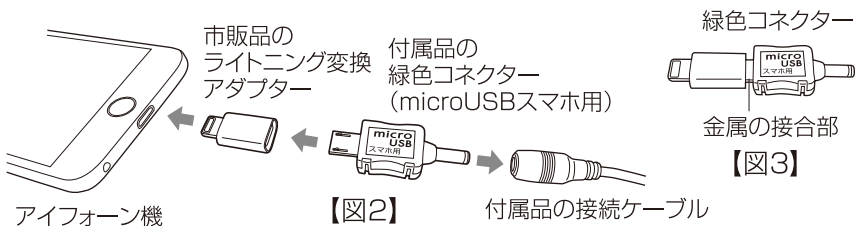
※iPadシリーズへの充電はできません。



②付属品のmicroUSBコネクタから市販のライトニング変換アダプターを使用する。

※市販品のライトニング変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、iPhone機のライトニング充電端子に差し込んでください。**【図2】**

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。**【図3】**



※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の12(10、12頁)をそれぞれ参照ください。

◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

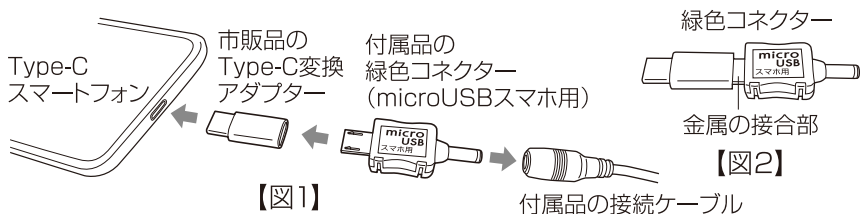
※Type-Cコネクタは付属していません。

※Type-Cへの変換は二通りの方法があります。

①付属品のmicroUSBコネクタから市販のType-C変換アダプターを使用する。

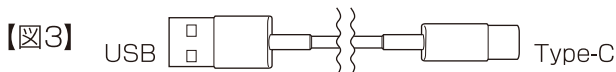
※市販品のType-Cへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図1】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図2】

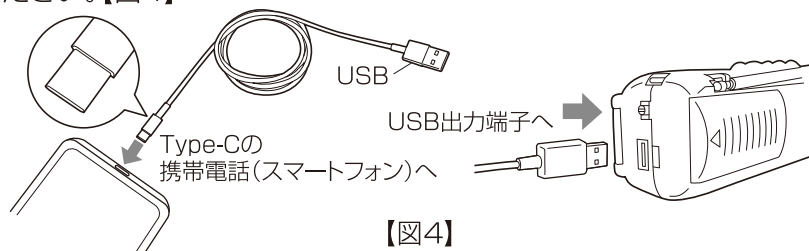


②USBプラグからType-Cへのケーブルを使用する。【図3】

※市販品のUSB/Type-Cケーブルをご使用ください。



※6991C本体の⑩携帯電話充電端子(USB出力端子)に差し込み、Type-C側のプラグを携帯電話(スマートフォン)に差し込んでご使用ください。【図4】



※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の12(10、12頁)をそれぞれ参照ください。

適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズへの充電はできません。

携帯電話充電の際の安全上のご注意



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法（バックアップ等）で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。



注意

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いくださいますようお願い申し上げます。

- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示が出てくる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。

最近のスマートフォン、アイフォーンの場合は内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

13 各機能の使用時間の目安

※諸条件により使用時間は異なります。この表はあくまでも目安であり、必ずしもお約束できるものではありません。おおよその目安になりますので、あらかじめご了承ください。

◎『ダイナモハンドルによる連続使用時間の目安』

※手巻きハンドルを120回転/分のペースで回してください。

機 能	360回転(3分間)	備 考
LEDライト	約5分	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約6分	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約10分	音量によります。
サイレン	約4分	1分以降、徐々に音量が小さくなります。

※上記の表はあくまでも目安です。使用条件、環境などにより効率が異なりますのでご了承ください。回転数を増やせば、さらに長時間の使用が期待できます。

◎『満充電後の内部電源による連続使用時間の目安』

(USBポートやAC/USBアダプターを使用して充電を行います。)

(満充電するには約3～4時間必要です)

機 能	連続使用時間	備 考
LEDライト	約3時間	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約4時間	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約10時間	音量によります。
サイレン	約2時間	徐々に音量が小さくなります。
携帯電話	約30分	連続通話時間
	約10時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

◎『乾電池でのご使用時間の目安』

(日本製アルカリ乾電池単4×3本ご使用時)

機 能	連続使用時間	備 考
LEDライト	約6時間	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約8時間	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約30時間	音量によります。
サイレン	約4時間	徐々に音量が小さくなります。
携帯電話	約50分	連続通話時間
	約16時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

○仕 様

LEDライト：白色LED1灯

ランタン：白色LED3灯

受信周波数：AM:530～1600kHz
(ラジオ) FM/FMワイド:76～108MHz

アンテナ：FM/ロッドアンテナ AM/内蔵フェライトバー

電 源：内蔵ニッケル水素充電電池 (Ni-MH3.6v/300mAh)
単4乾電池3本 (別売)
手巻きダイナモハンドル
AC/USBアダプター:5V500mA (別売)

付 属 品：携帯電話充電用USBケーブル
接続コネクタ3種類
・緑ラベル…スマートフォン用 (microUSBプラグ)
・オレンジラベル…au用
・青ラベル…FOMA・Softbank3G用
取扱説明書/保証書 (本書)
ハンドストラップ

本体寸法：177×52×60mm

本体材質：ABS樹脂

使用温度：-10～40℃

※単4乾電池は付属していません。

※家庭電源用AC/USBアダプターは付属していません。当社指定品：
AC/USBアダプター (品番5848) を別途お買い求めください。

製品保管時のご注意

本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなる恐れがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電やUSBによる充電を行うようにしてください。



※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。

※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

6991C-19-07